



令和2年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和2年4月13日

上場会社名 前澤工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6489 URL http://www.maezawa.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松原 正  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 吉田 純 (TEL) 048-251-5511  
 四半期報告書提出予定日 令和2年4月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年5月期第3四半期の連結業績(令和元年6月1日~令和2年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年5月期第3四半期	19,133	△3.0	592	△2.1	700	7.9	206	△62.8
元年5月期第3四半期	19,727	6.7	605	116.6	649	89.9	556	86.0

(注) 包括利益 2年5月期第3四半期 223百万円(△48.3%) 元年5月期第3四半期 432百万円(△22.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年5月期第3四半期	10.90	—
元年5月期第3四半期	30.11	28.69

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年5月期第3四半期	33,152	17,702	53.4
元年5月期	32,447	17,729	54.6

(参考) 自己資本 2年5月期第3四半期 17,702百万円 元年5月期 17,726百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
元年5月期	—	5.00	—	7.00	12.00
2年5月期	—	6.00	—		
2年5月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年5月期の連結業績予想(令和元年6月1日~令和2年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	△3.7	1,260	△4.7	1,300	△5.4	750	△25.4	39.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年5月期3Q	21,425,548株	元年5月期	21,425,548株
② 期末自己株式数	2年5月期3Q	2,462,490株	元年5月期	2,462,372株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2年5月期3Q	18,963,110株	元年5月期3Q	18,475,712株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、輸出が弱含む中で、製造業を中心に弱さが一段と増した状態が続いているものの、個人消費の持ち直しや設備投資の緩やかな増加傾向に加え、雇用情勢の改善などを背景に、景気は緩やかに回復していると思われまます。一方で、通商問題を巡る動向や金融資本市場の変動の影響、消費税増税の影響、さらに新型コロナウイルス感染症の拡大の問題が内外経済に与える影響にも留意する必要があります、不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、公共投資は堅調に推移しているものの、公共事業費の削減による企業間競争の激化や、原材料費および人件費等の高騰により、厳しい環境が続きました。

一方で、高度成長期に整備された施設・設備の老朽化に伴う更新や地震などの自然災害、エネルギー問題への対応など、新たなニーズも高まってきております。

このような状況のもとで当社グループは、持続的な成長をめざすために、「Be a Challenger 2020」をスローガンとした中期3ヵ年経営計画（2018年度～2020年度）を策定し、長年にわたり実績を積み上げてきた技術・製品による新市場の開拓やイノベーションによる事業の拡大、更新対応・省エネルギーなど顧客ニーズを捉えた技術・システムの開発・改良・提案により、受注の確保、拡大を図るとともに、グループ一丸となった生産性向上による業務の迅速化や原価低減等により、経営基盤の強化を図ってまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、受注高は31,271百万円（前年同期比42.4%増）、売上高は19,133百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

損益につきましては、経常利益は700百万円（前年同期比7.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は206百万円（前年同期比62.8%減）となりました。なお、当社グループの事業の特徴として、受注した装置類の納期等が3月末に集中することから、売上および利益計上が第4四半期に集中する傾向にあります。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①環境事業

環境事業については、公共投資の減少傾向等により、引き続き厳しい事業環境が続くなか、受注高13,707百万円（前年同期比104.3%増）、売上高6,972百万円（前年同期比19.1%減）、セグメント損失673百万円（前年同期105百万円の利益）となりました。

#### ②バルブ事業

バルブ事業については、公共投資の減少傾向等により、引き続き厳しい事業環境が続くなか、受注高7,675百万円（前年同期比11.1%増）、売上高7,026百万円（前年同期比14.2%増）、セグメント利益786百万円（前年同期2百万円の損失）となりました。

#### ③メンテナンス事業

メンテナンス事業については、公共投資の減少傾向等により、引き続き厳しい事業環境が続くなか、受注高9,888百万円（前年同期比18.5%増）、売上高5,134百万円（前年同期比3.5%増）、セグメント利益547百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は33,152百万円となり、前連結会計年度末に比べ705百万円増加しました。主な変動項目としましては、受取手形及び売掛金が2,662百万円、仕掛品が1,432百万円増加しており、現金及び預金が3,094百万円、電子記録債権が502百万円減少しております。

負債合計は15,449百万円となり、前連結会計年度末に比べ732百万円増加しました。主な変動項目としましては、短期借入金800百万円、前受金が996百万円増加しており、電子記録債務が751百万円減少しております。

純資産合計は17,702百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円減少しました。主な変動項目としましては、利益剰余金が39百万円減少しております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年5月期の通期業績予想につきましては、令和元年7月12日に「令和元年5月期 決算短信」で公表しました業績予想に変更ありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大に関して、現時点における当社グループの方針、取り組み状況は次のとおりであります。

当社グループは、安定的な製品供給および計画どおりの施工等の確保にむけ、可能な限りの対応を進めております。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大は激甚的な自然災害にも匹敵する事態であり、今後の状況の変化により納期および施工等の進捗に影響が生じるおそれを当社グループの企業努力のみを以って完全に排除することは困難であると認識しております。

今後、何らかの影響が及ぶ可能性が高いと判断した場合には、適時適切にその内容を開示いたします。

#### ①当社グループの方針、取り組み事項に関して

当社グループは、国および地方公共団体が示す方針および要請に従い、新型コロナウイルスの感染予防ならびに感染拡大防止措置を冷静かつ慎重に講じております。

具体的には、マスクの着用、手洗・うがい・手指消毒の励行、体温検査による健康管理実施、時差出勤、テレワーク等在宅勤務など、当社グループの実情に照らし可能な対応を行っております。

#### ②現時点の当社グループの状況に関して

本資料提出日現在、当社グループにおける資材調達・製造ライン・施工現場において、大きな影響が及ぶような状況はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和元年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,584	4,489
受取手形及び売掛金	5,553	8,215
電子記録債権	2,960	2,458
商品及び製品	2,429	2,744
仕掛品	2,080	3,513
原材料及び貯蔵品	1,156	1,287
その他	798	595
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	22,560	23,299
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,075	2,006
機械装置及び運搬具（純額）	893	896
工具、器具及び備品（純額）	449	451
土地	3,613	3,613
有形固定資産合計	7,031	6,968
無形固定資産	50	44
投資その他の資産		
その他	2,815	2,850
貸倒引当金	△10	△11
投資その他の資産合計	2,805	2,839
固定資産合計	9,886	9,852
資産合計	32,447	33,152

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和元年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,717	3,322
電子記録債務	4,322	3,570
短期借入金	—	800
1年内償還予定の社債	184	184
1年内返済予定の長期借入金	928	745
リース債務	15	13
未払金	600	430
未払賞与	513	—
未払法人税等	197	245
前受金	1,480	2,476
賞与引当金	—	199
工事損失引当金	126	116
完成工事補償引当金	9	49
その他	468	373
流動負債合計	11,564	12,527
固定負債		
社債	324	182
長期借入金	1,605	1,395
退職給付に係る負債	1,007	1,009
完成工事補償引当金	—	120
長期未払金	55	45
リース債務	37	34
繰延税金負債	123	134
固定負債合計	3,153	2,921
負債合計	14,717	15,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,233	5,233
資本剰余金	4,801	4,801
利益剰余金	8,003	7,963
自己株式	△802	△802
株主資本合計	17,236	17,196
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	489	506
その他の包括利益累計額合計	489	506
新株予約権	3	—
純資産合計	17,729	17,702
負債純資産合計	32,447	33,152

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年6月1日 至平成31年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和元年6月1日 至令和2年2月29日)
売上高	19,727	19,133
売上原価	15,276	14,608
売上総利益	4,451	4,524
販売費及び一般管理費	3,845	3,932
営業利益	605	592
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	65	67
助成金収入	—	55
その他	8	5
営業外収益合計	75	129
営業外費用		
支払利息	17	15
株式交付費	7	0
貸倒引当金繰入額	0	0
その他	5	4
営業外費用合計	31	20
経常利益	649	700
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除却損	22	16
投資有価証券売却損	0	—
完成工事補償引当金繰入額	—	144
損害賠償金	—	38
ゴルフ会員権評価損	—	0
特別損失合計	22	199
税金等調整前四半期純利益	628	502
法人税、住民税及び事業税	165	288
法人税等調整額	△93	6
法人税等合計	72	295
四半期純利益	556	206
親会社株主に帰属する四半期純利益	556	206



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年6月1日 至平成31年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和元年6月1日 至令和2年2月29日)
四半期純利益	556	206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△124	16
その他の包括利益合計	△124	16
四半期包括利益	432	223
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	432	223
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成30年6月1日 至 平成31年2月28日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	環境事業	バルブ 事業	メンテナ ンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,615	6,153	4,958	19,727	—	19,727
セグメント間の内部売上高 又は振替高	178	787	66	1,032	△1,032	—
計	8,794	6,940	5,025	20,759	△1,032	19,727
セグメント利益又は損失 (△)	105	△2	574	678	△73	605

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 令和元年6月1日 至 令和2年2月29日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	環境事業	バルブ 事業	メンテナ ンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,972	7,026	5,134	19,133	—	19,133
セグメント間の内部売上高 又は振替高	110	781	19	911	△911	—
計	7,083	7,807	5,153	20,044	△911	19,133
セグメント利益又は損失 (△)	△673	786	547	660	△68	592

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。